納得価格・安心サポートの積算・見積ソフト導入により業務の効率アップを実現

産業プラント事業部
マーケティング本部
IPマーケティンググループ
グループ長 参事　小松 弥宏 氏(中央)
IPマーケティング課 課長 主幹　田中 榮紀 氏(左)
IPマーケティング課　菅　宏徳 氏(右)

積算・見積ソフト「見積CRAFT(クラフト)2012 シリーズ」

渦潮電機株式会社
所在地:愛媛県今治市
資本金:6,000万円
主な事業内容:船舶およびビル、工場、施設等の陸上プラント制御・配電・通信機器の製造、販売、工事
URL:http://www.bemac-uzushio.com/

渦潮電機(株)は昭和21年、漁船を対象とする蓄電池の販売充電を目的として設立。船舶内、または各種陸上プラントの電機を扱うゼネラルコントラクターとして、環境への貢献と安心・安全を提供し続けてきた。産業プラント工事部門では、海上という厳しい環境で培われた技術により、ビル関係の受配電設備工事はもとより、コージェネシステム・廃水処理プラント等、あらゆる電気工事を手掛けてきた。
同社の積算・見積ソフト導入の経緯と効果のほどを取材した。

「見積CRAFT」シリーズ導入前の状況は?

以前は、「見積CRAFT」とは別の見積ソフトを使用していました。

当時は、材料の単価・工数などの変更方法が複雑で、作業に時間がかかる状態でしたし、各人の設定は各々が行っており、社内で統一されていない状況でした。使用中の見積ソフトがサポートを終了するというので、それを機会に現状の問題を解決するような見積ソフトを探し始めました。

以降、複数の積算・見積ソフトを候補に挙げ、検証した結果、「見積CRAFT」の導入を決定しました。

「見積CRAFT」シリーズに決めた理由は?

とにかく、コストパフォーマンスです。数ある見積ソフトに比べ、大幅に安価。複数本導入が必要な当社にとっては、かなり魅力的でした。そして機能です。この価格で、わが社で必要とする以下の機能はすべて網羅されていました。

■メンテナンス機能

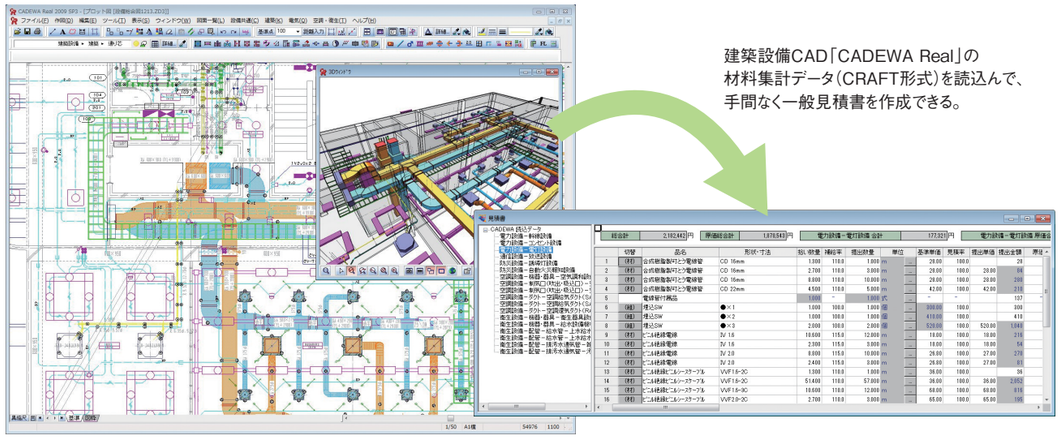
市販の単価データ「積算資料」を購入すれば、単価更新機能によりワンタッチで材料単価を更新できます。冊子を確認しながら手入力で変更していたこれまでの手間が不要となるのが魅力でした。

また、設定したマスタファイル・動作環境ファイルをサーバーにアップし各クライアント側がその設定を自動で取得するオプションもあり、社内で統一した根拠を常に利用する目的に合っていました。

■Excel出力機能

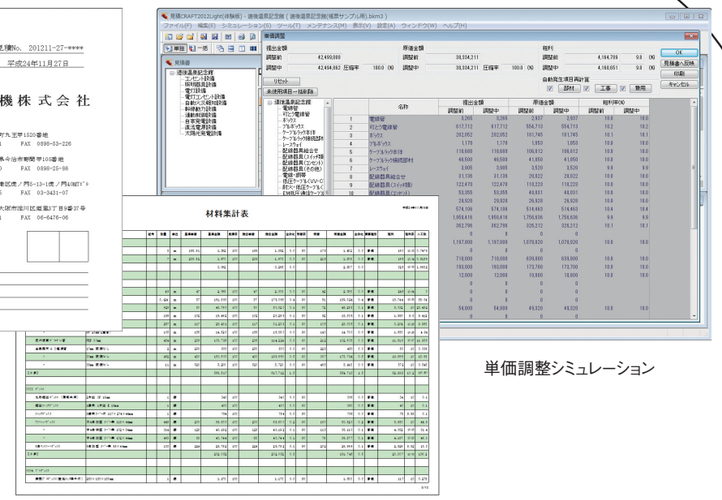
見積書をExcelデータで欲しいと言われる機会は結構あります。CSV形式で出力するソフトはありますが、「見積CRAFT」はExcelデータに直接変換できます。

CSV形式で出力後、Excel側で罫線を付けたり、改ページを編集したりなどの成型作業が不要となり、そのまま提出できるメリットは大きかったです。



建築設備CAD「CADEWA Real」の材料集計データ(CRAFT形式)を読込んで、手間なく一般見積書を作成できる。

見積書鑑



単価調整シミュレーション

材料集計表

■材料集計機能

見積書作成後、1物件単位でA材B材グループごとまたは、部材グループ毎で材料集計が行えます。グループ単位で原価金額の把握ができますし、グループ内は材料別に細かく集計されているので、Excel等で材料の仕入れ値を設定し、実行予算を組むなど、作業の幅が広がります。

■CADEWA連動機能

四電工開発の建築設備CAD「CADEWA」を導入しています。

将来的には、この「CADEWA」の材料集計機能を利用し、図面の作成 → 材料集計 → 「見積CRAFT」の連動を行い、積算業務の作業効率を図りたいと考えています。その将来性も決め手の1つです。

実際に使い始めて

導入にあたって、1日の集合教育を行いました。

自社用の帳票フォーマットを即座に作成し、教育を受けたその日から、見積書を提出できました。

操作が簡単なのが一番でした。部材を選択、数量を入力するだけで、必要な労務費、付属品、雑材消耗品等は自動で計算され、見積書が完成します。

いつもは営業担当が使用していますが、現場担当にも使わせたところ、すぐに操作を習得し、現在は、全員がフル活用しています。

最後に

「見積CRAFT」は2008シリーズから導入し、2010シリーズ、2012シリーズとバージョンアップを行っています。欲しかった機能が着実に反映されており、次のバージョンにも期待しています。

また、2012シリーズからは、ユーザ登録後2年間のフリーダイヤルサポートが付き、ちょっとしたことでも気軽に問い合わせできます。このような導入後のサポート面の充実にも満足しています。

渦潮電機「みらい工場」

実際の作業風景